

地域再生プロジェクト調書

市町村名 幌延町

1 地域再生プロジェクト概要（プロジェクト全体）

実施主体	市町村名：幌延町 民間団体名：		計 1市町村 団体
プロジェクト名	北方圏のまちづくりプロジェクト		
地域の課題及び 地域再生プロジェクト の目標	<p>地域の課題 幌延町の人口は、昭和35年の7,438人をピークにその後は少子化や若年層の流出による急速な過疎化が進行しており、食生活の改善や医療の進歩などによる長寿の進展を背景に高齢化も進んでいる。町財政については行財政改革を進めながらも健全化に向けた取り組みを進めているが、投資的経費のほか生活インフラや福祉などの義務的経費の捻出も厳しい状況にある。</p> <p>その中で、観光は、『利尻・礼文・サロベツ国立公園』や日本で唯一のトナカイ観光牧場等を有しているが、平成10年度の14万人をピークに年々減少傾向にあり、平成20年度には82千人まで落ち込んでいる。地域の新たな観光資源として、平成元年から希少価値の高い『ブルーポピーの栽培研究』に取り組んでおり、近年では、採種から開花までのサイクルを確立しているが、開花期間が1ヶ月と限られていることから観光客誘致が難しい。</p> <p>本格的な道北の観光シーズンに合わせた観光客誘致に取り組むためにも、ブルーポピーの開花調整が課題となっている。</p> <p>プロジェクトの目標 本プロジェクトでは、ブルーポピーを新たな地域の観光資源として位置づけ、開花調整の技術を確立することにより、観光客の入込数向上が図られるとともに、利尻・礼文などと花を共通とした新たな広域観光ルートの開発が期待できる。また、栽培園芸業者が少ないこの種の花の栽培技術を確立している幌延町を道内外に広くPRし、『ブルーポピーの里 幌延町』の知名度向上を図る。</p>		
是正を目指す 格差の状況	格差の分野	地域経済の格差	地域経済の格差を客観的に比較する選択指標
	社会構造の格差 地方行財政の格差 その他の格差（ ）	医療・福祉の格差	[一人当たり課税所得 完全失業率 観光入込客数] 医療・福祉の格差を客観的に比較する選択指標 [少子化率 医師・歯科医師数 医療・福祉就業者数]
	具体的な格差の状況（客観的なデータ等）		
	観光客入込数の推移 (H15～20)	・当該市町村 41.9% ・全道平均 5.9% ()	・当該市町村 () ・全道平均 ()
地域重点プロジェクト との関連性	該当 非該当	地域重点プロジェクト名 道北観光の魅力発見プロジェクト	主な取組 広域観光ルートの開発、体験・滞在型観光地づくり 情報の発信
			広域観光ルートの検討、地域連携による誘客促進やメニュー開発 観光プロモーション事業等の促進
期待される効果 (指標)	交付金支援期間終了時の成果目標 観光入込客数の3%（3,000人）増 (H20 82千人 H22年 85千人)		将来的な成果目標（概ね10年後） 観光客入込客数の12%（10,000人）増 (H20 82千人 H32年 92千人)
プロジェクト の公表方法	各種プレスへの投げ込み並びに町のホームページ等で公表する。		

2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度分）

	事業名 実施主体名	事業概要	事業費	財源内訳						交付金 要望額	
				国庫補助 金等	道補助 金等	市町村補助 金等	市町村 委託費	市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
1	ブルーポピー調査・ 研究事業	7月以降の観光シーズンを見据え、ブルーポピーの開花調整を目指し、株の休眠期間と開花時期を任意に調整が可能な環境を整えるため、雪氷を利用した苗の貯蔵に取り組む。	1,397	(名称)	(名称)			1,397		(名称)	1,397
	町										
2	ブルーポピーマス コットキャラクター 製作・PR事業	キャラクタの公募・キャラクター（着ぐるみ・携帯ストラップ）製作・札幌などのイベントに参加し、観光PR活動を実施	1,950	(名称)	(名称)			1,950		(名称)	1,950
	町										
3	イベント開催事業	ブルーポピーフェスティバルを新規に開催し、観光客の誘致を図るとともに地域住民の意識高揚を図る。	1,353	(名称)	(名称)			1,353		(名称)	1,353
	町・公										
計	事業数[3] 実施主体数[2]		4,700					4,700			4,700

注1 今年度の地域再生プロジェクトを構成する事業について全て記載すること。

2 起債が充当される場合は、その他に整理すること。

3 市町村以外が実施主体であって、住民が主体となっている場合は（住）、公共的団体の場合は（公）、営利企業は（企）、これらの区分に属さない場合は（他）を実施主体名称の後ろに表示すること。また、複数の団体等が実施主体を構成している場合（住・公）のように記載すること。